

商業（ビジネス経済）

履修単位	2単位	学年	2年	学科	商業科	コース	地域貢献・ 簿記・情報	区分	必修・ 選択
------	-----	----	----	----	-----	-----	----------------	----	--

1 学習内容と学習目標

- (1) 現代経済において経済理論が果たす役割とそれを学ぶ意義について学習する。
- (2) ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を身に付ける。
- (3) 経済の仕組みや概念について学習する。
- (4) 経済に関する基礎的な理論を基に、経済事象を主体的に考える能力と態度を身に付ける。

2 教材等

教科書：ビジネス経済（実教出版）
 補助教材：ビジネス経済 問題集（実教出版）
 商業経済検定模擬試験問題集 1・2級 ビジネス経済A（実教出版）

3 年間学習計画

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
一 学 期	Introduction 世界の中の日本経済・市場に囲まれた生活・市場の成立 第1章 市場と経済 1節 資源配分のしくみ 2節 現代の市場経済とビジネス	4	○身近な経済事象と世界経済の繋がり考察を通して、経済学を学ぶ意義を理解するとともに、自らの生活と市場との関わりを実感させ、分業がビジネスの発展に果たす役割について理解し、学習の動機付けを図る。 ○財を配分する仕組みとして、資源配分メカニズムがあること、また、有効な手段として市場メカニズムがあることを理解する。 ○市場の変化について、資源配分メカニズムの観点から考察する。 ○現代の市場経済の特色について、サービス化・情報化・国際化の観点から考察するとともに、価格競争・差別化競争などの企業間の競争によって市場が活性化することを理解し、そこから生み出されるイノベーションが社会を発展させていくことを学習する。	中間 考 査
	第2章 需要と供給 1節 需要の概念と需要の変化	5	○ミクロ経済学とマクロ経済学の二つの視点について概観する。 ○財と市場が対の関係であることを理解する。 ○需要の意味、また、価格と需要量の関係について理解するとともに、需要の価格弾力性、需要の所得弾力性についても理解する。	期 末 考 査
	2節 供給の概念と供給の変化 第3章 価格決定と市場の役割 1節 価格決定のしくみ	6	○供給の意味を理解、また、価格と供給量の関係について理解するとともに、供給の変化、供給曲線のシフトについて、技術革新や原材料価格の変化、市場に参入している企業数の変化などの例を用いて理解する。 ○市場において、需要や供給の変化に対応するために、価格が変化することを理解する。	
	2節 市場の役割と課題	7	○資本や労働などの生産要素の配分と市場について、財の配分と対比しながら考察する。また、特定の財に対する課税が、市場にもたらす影響について理解するとともに、その存在について認識する。	
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した印刷物、考査訂正 等				
《第1学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
一 学 期	第4章 経済成長と景気循環 1節 GDP（国内総生産）	9	○GDPについて、付加価値の合計と最終生産物の生産額という二つの側面から理解するとともに、日本のGDPについて考察する。	中 間 考 査

	2節 経済循環	10	○経済循環の中での家計と企業とのかかわりあいについて、それぞれの生産物市場、生産要素市場、金融市場との関係を通じて理解する。また、三面等価についても理解する。 ○インフレーションとデフレーションについて理解するとともに、わが国の過去の経験から、それらの具体的な種類について認識する。	出 査 期 末 考 査
	3節 物価と実質GDP			
	4節 経済成長	11	○労働供給が経済成長に与える影響を理解させ、わが国の人口減少や少子高齢化について考察する。 ○生産技術の水準と経済成長の関係を理解させ、わが国がイノベーションを求める背景について認識する。	
	5節 景気変動とインフレーション	12	○総需要曲線のシフトが景気に及ぼす影響を理解するとともに、特にマイナスの需要ショックについて、その要因を理解する。	
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した印刷物、考查訂正 等				
《第2学期の評価方法》 定期考查、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
三 学 期	第5章 経済政策 1節 財政	1	○市場の失敗について認識するとともに、公共財の供給に対する問題点を把握することで、政府の資源配分機能を理解する。 ○地方財政について概観し、地方交付税の見直しについての議論が行われていることを認識する。	学 年 末 考 査
	2節 金融 【全商商業経済検定ビジネス経済A】	2	○直接金融と間接金融について確認し、それぞれの長所と短所、わが国の金融市場での歴史的な流れを理解した上で、現在の世界の金融市場について、証券化や市場型間接金融をキーワードに考察する。	
		3		
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した印刷物、考查訂正 等				
《第3学期の評価方法》 定期考查、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は、後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し、年間の学習成績として評価する。				

4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	現在の経済状態について関心をもち、その展望について自らの考えを整理する意欲や経済事象を主体的に考える実践的な態度を身に付けているか。	レポート・感想文 発表の仕方・内容
思考・判断・表現	経済事象について理解することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けているか。	レポート・感想文 発表の仕方・内容
技能	経済に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、経済事象の考察を合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。	レポート・感想文 発表の仕方・内容
知識・理解	経済に関する基礎的・基本的な知識と見識を身に付け、経済の仕組みや概念について理解しているか。	定期考查・小テスト

5 授業を受ける際の注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・学習の到達度を測るため、原則として、全商商業経済検定ビジネス経済Aを受験する。 ・学期ごとの定期考查の結果、30点に満たない生徒へは追指導を実施する。 ・このシラバスは、あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。
--

